

平成 26 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

| | | | |
|----------|------------------------|---------|--|
| 計画とりまとめ課 | まちづくり局 小杉駅周辺総合整備推進室 | 要素事業所管課 | 建設緑政局道路河川整備部道路整備課 建設緑政局道路河川整備部河川課 教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課 |
|----------|------------------------|---------|--|

1 計画の概要

| | | | |
|--------------------|---|-------|-----------------------|
| 計画の名称 | 小杉駅周辺地区市街地の活性化 | 計画の期間 | 平成 22 年度～ 平成 26 年度 |
| 計画の目標 | 広域的な交通利便性が高く、商業・業務、研究開発、文化交流、都市型居住の機能が集積した広域的拠点の形成を図るとともに、等々力緑地など周辺環境資源と連携した広がりのある都市空間づくりをめざし、誰もが利用しやすく快適で賑わいのあるまちづくりを推進します。 | | |
| 計画の成果目標(定量的指標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵小杉駅の乗降者数を 38 万人/日 (H26) に増加 ・ 都市計画道路東京丸子横浜線の混雑度を平成 26 年度に 1.25 以下に減少 ・ 文化交流の機能集積効果として、市民の生活快適性を推し量るため、駅至近に場所を移す中原図書館の貸出冊数を平成 26 年度までに 120 万冊に増加 ・ 周辺市街地の活性化に向けて、競技開催時のみならず日頃から多目的に利用できる陸上競技場をめざし、来場者数を 57 万人/年 (H27) に増加 | | |
| 計画変更を行った場合、変更内容の概要 | ・ 基幹事業の追加 (平成 25 年 2 月に、小杉町 3 丁目中央地区市街地再開発事業及び小杉町 3 丁目東地区市街地再開発事業を追加) | | |

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況 (概要)

| 事業の区分 | 主な事業名 | 計画事業費 | | 執行額(千円) (評価時) | 進捗率 (%) | 事業進捗状況の概要 |
|-------------------|----------------------|------------|------------|---|------------|-------------|
| | | 当初(千円) | 評価時(千円) | | | |
| A (基幹事業) | 小杉駅周辺地区都市再生整備計画事業 | 17,488,000 | 13,281,000 | 13,281,000 | 100% | H26 年度未完了予定 |
| | 武蔵小杉駅南口地区東街区市街地再開発事業 | 2,240,000 | 2,092,000 | 2,092,000 | 100% | H25 年度未完了 |
| | 小杉町 3 丁目中央地区市街地再開発事業 | — | 1,589,000 | 1,589,000 | 100% | H26 年度未完了予定 |
| | 小杉町 3 丁目東地区市街地再開発事業 | — | 550,000 | 550,000 | 100% | H26 年度未完了予定 |
| B (関連社会資本整備事業) | — | — | — | — | — | — |
| C (効果促進事業) | 新中原図書館整備事業 | — | 406,000 | 406,000 | 100% | H24 年度未完了 |
| 全体事業費 (A+B+C) | | 19,728,000 | 17,918,000 | 17,918,000 【財源内訳】 国：7,630,900 市：10,287,100 | 100% | |

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

| | | | | |
|---|--|---|---|-----------------------------|
| 評価指標の名称、内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅乗降客数 ・ 道路の混雑度 ・ 中原図書館年間貸出冊数 ・ 等々力陸上競技場年間来場者数 | | | |
| 定義及び算定式 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵小杉駅（JR・東急）乗車人数の統計データ ・ 東京丸子横浜線における混雑度 ・ 年間の貸出冊数統計データ ・ 等々力陸上競技場の年間来場者数 | | | |
| その指標を設定した理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の賑わい創出の効果を示す指標として「駅乗降客数」を指標として設定しました。 ・ 交通利便性の向上を示す指標として、道路の混雑度を指標として設定しました。 ・ さまざまな都市機能の集積に伴う賑わい創出の効果を示す指標として、中原図書館の利用に関する指標として設定しました。 ・ 周辺環境資源と連携した都市空間づくりの効果を示す指標として、等々力陸上競技場の来場者に関する指標として設定しました。 | | | |
| 当初現況値 | 中間目標値(H24末) | 最終目標値(H26末) | 実績値(確定・見込) | 目標達成状況 |
| 33.6万人/日(H18) 1.6(H16) 816,452冊(H19) 34.8万人/年(H22) | 35.8万人/日 1.43 816,452冊/年 34.8万人 | 38万人/日 1.25 1,200,000冊/年 57万人/年(H27) | 43.2万人/日(H25) 1.0 1,648,728冊/年(H25) 37.4万人/年 | 114% 125% 137% 65% |
| 目標達成状況に対する所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵小杉駅の乗降客数はH25年時点で、最終目標値を達成しており、事業効果が現れていると考えます。 ・ 道路の混雑度は、目標値は達成しており、事業効果が現れていると考えます。東京丸子横浜線がH26年11月に一定区間において4車線化による供用を開始し、交通の円滑化の向上につながりました。 ・ 中原図書館の貸出冊数は、H25年時点で最終目標値を達成していますので、事業効果が現れていると考えます。 ・ 等々力陸上競技場の来場者数は、H25年の統計で37.4万人/年と改善されており、競技場完成時には事業効果が現れると考えます。 | | | |
| 将来の見込み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 等々力陸上競技場の来場者数は、競技場完成後のH27年度以降に目標を達成できるものと見込んでいます。 | | | |

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

| | |
|------------------------------|---|
| 評価指標の名称、内容 | ・ 対象地の町丁別人口の比較 |
| 定義及び算定式 | ・ 町丁別人口より平成22年と平成26年を比較 |
| 指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性 | ・ 武蔵小杉駅周辺地区の整備に係る都市型居住等の機能を集積したことについての形成度合いの指標として設定しました。 |
| 評価指標の実績値を含む効果の発現状況 | 平成22年3月町丁別人口 小杉3丁目：2,032人、新丸子東3丁目：4,311人、合計：6,343人 →平成26年3月町丁別人口 小杉3丁目：2,759人、新丸子東3丁目：5,558人、合計：8,317人 町丁別人口が5年でそれぞれ727人、1,247人、合計1,974人増加しており、都市機能集積による広域拠点形成の効果が現れています。 |

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

| | |
|----------------------------|--|
| 意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見 内容：市のホームページにおいて、事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民から意見を募集。 手法：担当課への意見書の持参、郵送、FAX、又はメールでの提出により意見を募集 実施期間：9月1日～9月30日 ・ 「小杉駅周辺地区市街地の活性化」事後評価アンケート 内容：「小杉駅周辺地区市街地の活性化」事後評価についての路上アンケート 調査場所：武蔵小杉駅東口駅前広場、中原図書館、横須賀線口駅前広場 実施日：10月2日 10:00～18:00 |
| 意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見 回答数：4件 意見（抜粋）：「歩行者動線が整備され良い街になった。ただし、子どもが遊べる場所が必要だと思う。」、「横須賀線新駅が完成して、小杉駅周辺は良くなった。しかしながら混雑にも対応してほしい。」、「道路の混雑に対応してほしい。」等の意見がありました。 ・ 「小杉駅周辺地区市街地の活性化」事後評価アンケート 回答数：265名（内訳：東口駅前広場130名、中原図書館80名、横須賀線口駅前広場55名） アンケート調査結果： |

| | |
|--|---|
| | <p>「5年前と比べて武蔵小杉駅周辺地区がより利用しやすく快適なまちになったと思いますか。」という設問では、「そう思う」が170名(64%)で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が64名(24%)で、合計すると約8割以上の方が、利用しやすく快適なまちになったと評価しています。</p> <p>一方、「武蔵小杉駅周辺地区に今後整備・充実を図るべき施設や機能について必要なもの」に関する設問では、「歩行空間」が最も多く101名(38%)で、次いで「福祉施設」で72名(27%)、「子育て支援施設」で69名(26%)となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応方針 道路機能の強化を図るとともに様々な都市機能の集積を図ってまいります。 |
|--|---|

6 今後の方針等

| | |
|---|---|
| <p>総合的な所見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画では、広域的な交通利便性が高く、さまざまな機能を集積した広域拠点の形成を図るとともに、等々力緑地など周辺環境資源と連携した広がりのある都市空間づくりをめざし、誰もが利用しやすく快適な賑わいのあるまちづくりを推進することを目標としています。 ・ この目標に向けた本計画における計画事業の効果を図る成果指標について、「駅乗降客数」においては、平成22年度時点で最終目標値を達成し、その後も増加を続けており、「道路混雑度」及び「中原図書館年間貸出冊数」においても、最終目標値を達成しています。また、「等々力陸上競技場年間来場者数」については、競技場完成後のH27年度以降に達成できるものと考えているところです。 ・ さらに、「小杉駅周辺地区市街地の活性化」に関するアンケート調査結果でも、5年前と比べて、利用しやすく快適なまちになったと考える人が、回答数の8割以上でした。 ・ 以上から、計画事業を推進したことにより、駅周辺の利便性や賑わいが着実に向上しており、本計画の目標に向けた効果が十分に発現しているものと考えております。 |
| <p>今後の方針</p> <div data-bbox="135 1030 303 1097" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>次期計画 あり・なし</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通利便性の向上に向け、引き続き、道路機能強化を図ることを目的とした道路整備を行ってまいります。 ・ 魅力的な広域拠点の形成に向け、引き続き、さまざまな都市機能の集積を図り、誰もが利用しやすく快適で賑わいのあるまちづくりを推進してまいります。 |